

## 第1回 めかびら源泉郷地区景観整備構想策定委員会

開催日時:平成 26 年 4 月 25 日(金) 13:30~15:30

開催場所:糠平温泉文化ホール

出席者:【 委 員 】上士幌町観光協会 市田雅之氏、中村健次氏

めかびら源泉郷行政区 二瓶勝善氏、鷲北強氏、小野内勝氏、

めかびら源泉郷旅館組合 蟹谷吉弘氏、市田雅志氏、中村達氏

NPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンター 河田充氏

NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会 角田久和氏

【オブザーバー】環境省北海道地方環境事務所、十勝西部森林管理署東大雪支署、  
十勝総合振興局環境生活課

【事務局】上士幌町、株式会社地域環境計画

### 第1回構想策定委員会 議事概要

#### 1. 情報共有

- ◇ はじめに、平成 22 年度大雪山国立公園東大雪地域整備基本計画(環境省策定)について、当時のめかびら源泉郷地区の自然条件・社会条件や基本計画策定までのワークショップの実施状況などを事務局より紹介しました。また、めかびら源泉郷地区における基本計画方針や、ゾーニング計画および動線計画などの各種計画に関して、与条件の共有として、事務局から説明しました。
- ◇ 次に、平成 22 年度から現在までの状況として、ひがし大雪自然館の設立や事業の実施状況・利用状況のほか、町道(糠平北区 8 号線)および中央園地の整備について、事務局から説明しました。
- ◇ また、めかびら源泉郷地区景観整備構想の策定目的のほか、委員会での検討内容が景観整備基本方針の設定および景観整備基本構想の策定であることを事務局から説明しました。
- ◇ なお、委員会は 4 回の開催を予定しており、第 1 回では構想策定に向けて情報共有と協議、第 2 回では講師を招いての景観に関する講演会と意見交換、第 3 回では基本構想案の協議、第 4 回に取りまとめの予定です。
- ◇ その他、景観整備構想については、地元説明会を開催する予定です。また、とりまとめた本構想を、町の施策に生かすと共に、景観整備について関係機関へ要望していく予定です。

#### 2. 意見交換(めかびら源泉郷地区の景観に関する課題について)

- ◇ 意見交換の前に、めかびら源泉郷地区の景観に関する意識を共有するために、事務局より話題提供として「めかびら源泉郷地区にはじめて訪れて、気になるところ」を整理した資料を提示しました。
- ◇ 上記の話題提供を踏まえて、めかびら源泉郷地区の景観等で気になっている事として、次の事項が挙げられました。

## ① めかびら源泉郷地区全体について

### 【温泉街づくりについて】

- ・どんな温泉街にしたいのか、基本コンセプトを共通認識として持つべきである。
- ・まずは、全体の緑地計画をたて、現状の緑地や樹木がその緑地計画にあっているかを考えると、最後に統一感のあるまとまりになる。
- ・森の温泉街づくりについて、現在の温泉街とのギャップを認識し、それに対してどうすれば良いか考えると良い(例えば、郷土樹種を取り入れた植栽など)。
- ・各宿泊施設などで“手湯”や“足湯”を実施しているが、現状では認識しづらく、通りかからないと分からないような状況にある。そのため、これらの施設がある場所を分かりやすく紹介するとともに、温泉街であることの魅力を伝えるための工夫が必要がある。
- ・場所によっては木製の電柱もみられるが、あえて古めかしい電柱を活用したりするなど、街として絵になるようなメリハリをつけることも必要である。

### 【魅せる植栽について】

- ・温泉街に木を植えて、無機質な印象を解消することが望ましい。
- ・観光客の方々に、ウペペサンケ山などの素晴らしい景観を眺望してもらうため、ビューポイント周辺に眺望を阻害するような樹木があれば、剪定や伐採をする必要があると考える。逆に、景観構成要素として隠しておきたいようなものがあれば、植樹を実施するなどして環境整備を進めるべきである。
- ・なお、植樹を実施する場合には、本来、この地域に生育している自然の樹木を植栽するのが良い。逆に、地域に自然に生育しておらず、景観的に周辺の緑と一体化していない樹木については、伐採するなどの対応を図ってもよいと考える(無作為のようにみせて、作為的に建物や景色などが見えたり、隠したりするような植栽が重要である)。
- ・現在、空いている場所を緑地として活用し、そこにシンボルツリーなどを植栽して、ランドマークポイントを巡るような温泉街づくりを実施していくことも良い。

### 【ビューポイントについて】

- ・めかびら源泉郷に訪れた観光客が、景観などの写真撮影ができる場所を整備し、情報を発信していく必要がある。
- ・ウペペサンケ山を眺望することができる具体的なビューポイントとしては、糠平川橋梁、ひがし大雪自然館駐車場、寺の沢園地、旧ひがし大雪博物館駐車場、糠平小学校グラウンドがある。
- ・ただし現状では、糠平川橋梁から糠平湖を眺める際に、手前の樹木が眺望を阻害している。
- ・ひがし大雪自然館から糠平川橋梁まで、スニーカーなどで気軽に行ける動線を作れると非常に良い。

## ② 具体的な箇所について

### 【大雪グランドホテルについて】

- ・現在、廃屋となっている大雪グランドホテルは防犯上の問題や、崩落の危険があり、撤去することが望ましい。
- ・大雪グランドホテルを撤去することができれば、ひがし大雪自然館の駐車場正面から大雪グランドホテルに向かって延びる道路は、観光客を温泉街や中央園地へと誘導する動線とすることができる。
- ・大雪グランドホテルの泉源を活用することができれば、中央園地とともにぬかびら源泉郷の魅力づくりができる。
- ・帯広方面から自動車で訪れる場合、ひがし大雪自然館に駐車してから、温泉街に移動してくることとなるが、旭川方面から自動車で訪れる場合、ひがし大雪自然館に立ち寄る前に、廃屋となっている大雪グランドホテルが視界に入ってしまう。そのため、大雪グランドホテルのある温泉街方向に足が向かないのではないかと。

### 【ひがし大雪自然館について】

- ・ひがし大雪自然館は、宿泊施設にチェックインするまでの時間を過ごす場所として、案内しやすく、また立ち寄っていただきたい場所である。
- ・ひがし大雪自然館への来館者数は、交通量と比例しており、紅葉時期が終わると客数が減る。
- ・帯広方面からは、ひがし大雪自然館が認識できずに通り過ぎてしまう。一方、旭川方面からは自然館は見えやすいが、どのようなことが(体験)できる施設なのか、分かりづらい。そのため、自然館の周辺の国道に案内標識を設置して、インフォメーションすると良い。
- ・ひがし大雪自然館と同様に、鉄道資料館についても国道から中に入っていくので分かりづらい。鉄道資料館とひがし大雪自然館を連動させる工夫があっても良い。
- ・ひがし大雪自然館からウペペサンケ山を眺めると、大雪グランドホテルと電線が眺望を阻害している。

### 【ひがし大雪自然館～温泉街・中央園地の動線について】

- ・ひがし大雪自然館に、見学やトイレ休憩等で立ち寄る観光客は多いが、温泉街への立ち寄りには繋がっていないのが現状である。そのため、温泉街へと誘導するような魅力づくりが必要である。
- ・ひがし大雪自然館から中央園地まで、観光客が歩いてみたくなるような工夫が必要である。
- ・ひがし大雪自然館から中央園地までの散策コースとしては、ひがし大雪自然館の駐車場正面から大雪グランドホテルに向かって延びる道路と、旧東大雪博物館の北側を通る2ルートが候補としてあげられる。このうち、旧東大雪博物館の北側を通るルートは、気軽に(スニーカーレベルで)歩けるような動線とすると、2ルートに変化が生まれて良いのではないかと。
- ・糠平北区8号線沿いは、糠平地区でも住宅が多い地区であるため、観光客が立ち入らないような配慮が必要である。